第１１１回長崎大学ＦＤ実施報告書（平成 26 年 11 月 10 日提出）

１．題　目：「ICE ルーブリックによる批判的思考力の育成」

２．日　時： 平成 26 年 10 月 24 日（金）１７：００～19：００

３．場　所： 長崎大学 坂本キャンパス　保健学科講義棟１Ｆセミナー兼講義室

４．主　催： 教務委員会
　　企画・実施：保健学科

５．対　象： 全教職員

６．長崎大学ＦＤに関する指針第二項への該当について【複数選択可】
（該当するものに〇を記入すること）
[　〇　]（1）　教員の教育活動に関するもの
[　　]（2）　カリキュラムの改善に関するもの
[　　]（3）　教育の組織的改善に関するもの
[　　]（4）　入学者選抜方法の改善に関するもの
[　　]（5）　その他教育改善及び入学者選抜方法の改善に関するもの

７．今回のＦＤの趣旨・意義
本年度の大学高度化推進費（教育改革）の支援を受けて,学生の批判的思考力を向上させる授業ツールと評価方法としてICEルーブリックの、看護教育への導入について取り組んでいる。その一環として、ICEルーブリックの日本への紹介者である土持ゲーリー法一教授による公演を企画した。アクティブラーニングは、長崎大学全体にさまざまな取り組みがされているところであり、主体的な学びに必須である、批判的思考を引き出すICEモデルとICEを活用したルーブリックにより教育効果を質的に評価でき、学生にも授業目標を明確に示すことができるこのモデルについて知識の共有化を図るため企画した。

８．プログラム構成［題目・担当講師］
17:00～17:10　開会挨拶　　保健学科長（田中吾郎教授）
17:10～18:50　基調講演　　「ICEルーブリックによる批判的思考力の育成」
　　講　師　　帝京大学　高等教育開発センター長　教授　土持ゲーリー法一氏
18:50～19:00　質疑応答

９．参加者： 24 名（受講証発行対象者：24 名）
（内　訳）

所　　属	人　　数
医学部	1
医歯薬学総合研究科（保系）	17
ICT 基盤センター	2
大学教育イノベーションセンター	2
病院	1
学術情報部	1
計	24

１０．実施したＦＤの成果等
（１）参加者からの評価
今回は、アンケート調査は実施しなかった。
参加者からは、ICE ルーブリックの基礎知識が得られた。また，疑問点が解決されたなどの意見が多く聞かれた。

（２）総　括
今回は、準備から講演会実施までの期間が短く、周知が十分でなかったこと、看護専攻は病院実習期間であるため先生方の参加は限定されていた。また、会場が保健学科であり文教地区や片淵地区の先生の参加も難しかったと思われる。
講演内容は、ICE モデルと ICE を導入したルーブリックによる評価を使うことにより質的評価が可能になることを具体的にお話ししていただき、参加者からはわかりやすかったという感想が聞かれた。
大学高度化推進経費（教育改革）の支援を受けて実施したこの講演会は、看護学専攻で近い将来授業の中にICEモデルを導入するためには、大きな学びがあった。12月にはICEモデルの開発者であるヤング先生の講演会もあり、次回の講演につながる講演内容であった。
（文責：花田　裕子）

１１．実施代表者の連絡先
部　局：保健学科
職　名：教授　　氏　名：田中　悟郎
e-mail：goro@nagasaki-u.ac.jp　　内　線：7995

１２．申請者の連絡先
部　局：保健学科
職　名：教授　　氏　名：花田　裕子
e-mail：hhanada@nagasaki-u.ac.jp　　内　線：7944